

黒石商工会議所令和 8 年度第 4 回常議員会議事録

開催日時 令和 8 年 9 月 1 6 日（水）午後 1 時 3 0 分

開催場所 黒石商工会議所 「会頭室」

出席者名 ①会頭

糸田泰孝

②副会頭（1 名）

宇野純子

③専務理事

松岡 毅

④常議員（6 名）

笠井智哉 小山内慎一 加藤正彦 葛西利治 増田邦春

木村孝男

⑤監事（1 名）

川村香織

⑥委任状行使者（1 3 名）

中村公成 工藤英麿 木村尚政 中村公生 鳴海信宏

西谷孝雄 村上拓世 泉 充彦 佐川武士 佐藤一博

千葉清光 高田英樹 新岡龍雄

⑦オブザーバー

棟方清崇

⑧事務局員

古川稚子 豊巻英知 鳴海淳一郎 西沢 弘 外崎彩音

須藤瑞姫 齋藤 侑 笹森綾乃

資 料 常議員会資料（15 ページ）

別 添 資 料 報告事項①「各部会・委員会、青年部・女性会活動について」

松岡専務理事 開会宣言。

糸田会頭 本日の議案に関し、皆様の忌憚のないご意見を伺いたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

松岡専務理事 議長は定款第 45 条の準用規定により会頭をもってあてることになっておりますので、糸田会頭に議長をお願いいたします。

糸田議長 それでは、規定により議長を務めさせていただきます。みなさまのご協力をいただき、円滑に議事を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ます。議案審議に入る前に、本常議員会の成立要件に関して事務局より報告願います。

松岡専務理事 総役議員数 23 名に対し出席者数 9 名、委任状行使者 13 名となり、定款第 45 条の準用規定により本常議員会は成立することをご報告いたします。

糸田議長 議案第 1 号「黒石市への要望事項(案)策定について」上程いたします。事務局より説明願います。

松岡専務理事 3 年前より、常議員会からも黒石市への要望事項を提言しております。また、各部会・委員会でも要望事項(案)を策定致します。これらを 10 月開催の常議員会で精査しまして、10 月末までに策定したいと思っています。常議員の皆様から要望がございましたら、ご提言頂きたいと思います。

糸田議長 むつ市では「伝統行事及び民俗芸能の継承発展に関する条例」が令和 6 年に施行されている。むつ商工会議所の要望により施行されたもので、担い手を育成するための環境づくり等を目標に、市の役割、伝統行事や民俗芸能を保存する団体等の役割、市民及び事業者の役割を明らかにして、次世代に継承することにより地域への誇りと愛着を育み、希望に満ちた魅力ある地域社会の実現に寄与することを目的としている。黒石市においても祭りに参加しやすい環境づくりを官民一体となって整備していきたい。

松岡専務理事 各種イベント、伝統芸能について、市、市民、事業所、各団体は積極的に協力しましょうという内容の条例である。

加藤常議員 具体的にどのような協力の仕方になるのか。協賛金ということか。

松岡専務理事 協賛金ということではない。

増田常議員 伝統を守るだけであるならば小学校でよさを教えるなどの方法がある。何を目的とした条例とするのか。

笠井常議員 そもそもむつ市ではどうして条例を作ることになったのか。何か危機的なものがあって作ったのではないか。

加藤常議員 おしまこ流し踊りでは子どもたちが 23 時過ぎまで参加していて驚いた。

糸田議長 子どもたちが小さい時から祭りに参加し、郷土愛を育むことが人口流出の歯止めになるのではないか。

加藤常議員 条例を作って何をしたいのか漠然としている。目的を具体的にすべきである。

増田常議員 条例が必要な目的を決めた方がよい。

糸田議長 諮ったところ議案第 1 号は、三役で条例の目的を精査し、10 月開催の常議員会で再度審議することに全会一致で決定されました。続いて議案第 2 号「新入会員の承認について」上程いたします。事務局より報告願います。

古川事務局長 配布資料に基づき説明。※総会員数 861 事業所(令和 8 年 9 月 16 日現在)

糸田議長 諮ったところ議案第 2 号は全会一致で承認されました。続きまして報告事項に入ります。事務局より報告願います。

須藤相談課主事・齋藤振興課主事・加藤建設部会長・外崎相談課主事・棟方青年部会長 報告事項①「各部会・委員会、青年部・女性会活動について」別添資料に基づき報告。

桑田議長 その他、常議員のみなさん及び事務局から何かございますか。

古川事務局長 「くろいしプレミアム付き商品券 2026」の販売状況について報告。

桑田議長 以上で本日の議案審議および報告事項はすべて終了しました。常議員会を閉会致します。

(午後 2 時 20 分)